

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	COLORS西淀川			
○保護者評価実施期間	令和7年2月4日 ~ 令和7年2月15日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	34名	(回答者数)	30名
○従業者評価実施期間	令和7年2月4日 ~ 令和7年2月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月27日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフ同士でコミュニケーションを多くとっている。そのためお互い支援での気づきや感じた事など意見交換や連携が出来ている。	管理者がスタッフに対し仕事以外での話も積極的にし、関係性を深め仕事の話も話しやすい環境を作っている。それにより、管理者に限らずスタッフみんなが積極的にコミュニケーションを取れる環境を作れている。	提案してくれた案は積極的に承認し、すぐミーティングなどで話をし事業所としての形を作っていく。自信を持ってもらい支援に繋げていく。
2	カリキュラムは5領域に沿って取り組み、集団で行っている。また、個別のレベルに応じた内容にも取り組んでいる。月間のスケジュールにすることにより様々なアプローチでの支援が出来ている。	意思決定を大切に何を取り組みたいかなどその都度確認し、取り組んでいる。	苦手な事を練習するのも大事であるが、得意と感じる所をさらに伸ばし可能性を広げていく。
3	訓練士が常駐しており、集団や個別で課題に取り組む事が出来ている。より専門性を持って支援ができている。他のスタッフに共有も行っている。	どんな訓練をするかなど事前に共有を行い、準備や環境を整えている。事前共有し、実行しブラッシュアップもしている。	集団や個別で取り組める課題を全スタッフが案を出し合える時間を毎日取り入れ、より子ども一人一人の特性に応じた専門性のある支援を行っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ケース会議に決まった人が参加する事が多い。	今後は様々なスタッフも交えてケース会議に参加していく。	他事業所や相談員との連携の機会を作ったり、スタッフ同士でコミュニケーションを多くとっていく。
2	避難訓練をしっかり取り組んでいるが、保護者に伝わっていないことがある。	避難訓練以外の事も送迎時に多く伝えている事がある為、話が記憶に残りにくい傾向がある。	送迎時や面談時にどこに避難したかなど写真を使い明確に伝えていく。
3	カリキュラムの種類は豊富であるが、お迎え時間の兼ね合いもあり集団での取り組みが少ない日が出てきている。	放課後等デイサービスのみの事業所で集団で取り組みやすい環境ではあるが、個々のレベルに合わせてすることで、より個別でのスキルアップを目指す事が多くなっている。	今後は集団でも取り組む日を増やしていく、個々のレベルにも合わせれるカリキュラムの内容にしていく。

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名	COLORS西淀川
------	-----------

公表日 令和7年3月31日

利用児童数 34名

回収数 30名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	2	0	2		見学時や契約時に活動部屋の紹介をしているが、引き続きより安心してご利用いただけるよう分かりやすく説明を行っていく。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	26	0	0	4		見学時や契約時に活動部屋の紹介をしているが、引き続きより安心してご利用いただけるよう分かりやすく説明を行っていく。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	0	0	2		今後把握して頂くにあたり、引き続き一つ一つ丁寧に説明を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	0	0	1		引き続きいつ来客がきてもいい様清潔に保つよう心掛ける。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	0	0	0		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	30	0	0	0		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	28	0	0	2		引き続き基本的なガイドラインに沿った計画を作成し、到達可能な目標を立てていく。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	30	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	0	1	0		保護者、利用者が満足できるよう固定化しないよう工夫を行っていく。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3	0	4	23		機会を設けられるように検討を行っていく。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	28	0	1	1	私が覚えていないだけかもしれない	契約時に丁寧に説明を行っているが、より大切どころは色黒で分かりやすく囲むなど行っていく。金額に関しては変動する為、事前に声掛けを行う。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	0	1	1		契約時に丁寧に説明を行っているが個別に合わせて伝え方に工夫を行う。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	3	3	17		訓練の際など一緒に来所された際に助言などしていることが多かったため、今後、家族なども参加できる機会を作っていく。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	28	1	0	1		引き続き送迎時に保護者には電話などで情報を伝えていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	26	1	1	2		引き続き送迎時に保護者から様子を伺い、ケアや助言をが行えるようにしていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	0	0	1		今後共感をし支援に繋げていく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	1	14	10	未回答1・あるか分からぬ。	保護者会の立案をしていく。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	0	1	2		保護者が精神的にしんどくなっている際や必要に応じて超過でご案内している。

	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	29	0	0	1		引き続きどの保護者にも分かりやすいよう配慮に工夫を行っていく。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	0	2	19		毎月のスケジュールと一緒にお渡しているが、今後はウェブサイトの運営も検討していきたい。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	30	0	0	0		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	0	17	あるか分からぬ	事業所にて常設、契約時の説明を行っている。さらなる周知の方法を検討していく。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	1	0	22		年間計画に沿って定期的に訓練を行っているが、今後は取り組んだ内容を保護者に分かりやすいよう説明を行っていく。
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	0	0	3		引き続き安全点検の実施や訓練や研修を行い安全計画の内容を説明を行っていく。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	25	2	0	2	未回答1・事故がない	今のところ事故がないが起きた場合的确に伝えれるよう伝える練習も取り入れていく。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	30	0	0	0		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	29	1	0	0	とても楽しみにしています	引き続き継続した支援が出来るように細やかな接觸や利用者が楽しんで通えるように努める。
	29 事業所の支援に満足していますか。	29	1	0	0		引き続き満足できるよう様々な経験ができる内容を取り入れていく。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名	COLORS西淀川	公表日	令和7年3月31日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	クッキングや集団活動ができるスペースもあり、活用している。	現状の状態を維持していく。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	事前に配置の確認等を行っている。スタッフの体調確認も行い、欠席した場合の想定も立てており、パートさんが出勤可能かの前持った声掛けも行っている。	引き続き現状の体制を維持していく。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	来所した後の動線も分かりやすいようにしている。	個々の特性に応じて、視覚支援も工夫を行っていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	一時間に一度消毒を行っている。宿題など集中して取り組みやすい様机の配置など工夫を行っている。	感染対策を行い、清潔な状態を維持していく。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	気持ちがしんどくなったり、クールダウンできる部屋を設けている。	現状の状態を維持していく。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	疑問に感じた事は全体で共有し話し合っている。	引き続きミーティングなどで、職員間の情報共有を行っていく。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	全スタッフが評価表に目を通し、改善に努めている。	今後、送迎時などでも意向が話せる環境にしていく。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	日々の様子を一覧で把握でき、休みの職員にも把握が出来るよう工夫されている。	引き続き、職員間で情報共有や意見交換を行っていき改善を行っていく。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	助言を頂き改善に繋げている。	引き続き利用者が安心して通えるように、改善と工夫を行っていく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	月に一度研修を行っている。	研修内容を踏まえ、普段の業務に反映していく。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	どんなカリキュラムをするか時間をかけて作成を行っている。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	本人の意思決定を大切にし、会話が難しい利用者にも絵カードなどで選択できる環境にしている。	保護者と目的、支援内容を都度共有し、同じ方向性を以て支援を行っていく。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	作成する前の会議に参加できない職員にも事前に話を聞き、情報共有を行っている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	朝夕のミーティングや会議を行い必要に応じて評価をしている。	事業所内での会議にて、ニーズや課題の掘り下げ等隨時行っていく。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	面談で成育歴や課題、興味、関心やニーズなどを把握を行い一人一人にあった支援方法を見立てている。	引き続き行っていく。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	必要な支援内容を分かりやすく記載している。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	カリキュラムの目標をみんなで定めて、そこに向けてスマールステップを目指している。	引き続き、職員間で情報共有や意見交換などを行なながら、活動プログラムを立案していく。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	新しい取り組みも行き、子どもたちの反響もみている。外出イベントも取り入れている。	職員間で意見交換を行なながら、様々な活動を行なっていくよう、引き続き工夫し取り組んでいく。

供 應	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	課題やニーズに合わせて作成を行っている。	保護者のニーズ、子どもの状況などを日々の支援の中で確認しながら、計画作成を行っていく。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	毎朝ミーティングを行っている。	今後も、朝夕のミーティングにて行っていく。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	終わりのミーティングを全員で行う。 不在のスタッフにしっかりと個別で共有している。	今後も、朝夕のミーティングにて行なっていき、積極的に意見交換を行っていく。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	ケース記録を取っている。改善に向けて意見を出し合っている。	今後も、朝夕のミーティングにて行なっていく。
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	サービスの質を向上できるよう、定期的に行ない、新たな課題も見つけていく。	必要に応じて対応していく。
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9	0	均等に取り組めるよう調整を行っている。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	話を聞いたり、利用者に選んでいただく機会をつくっている。	会話が難しい利用者にも絵カードを使用し選択できるよう工夫を行う。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	どのスタッフが出席になんでも発言が出来るよう共有を行っている。	関係機関とのケース会議を率先して提案していく。
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	協力医療機関があり連携が取れている。	引き続き助言などを頂き体制を整えていく。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	毎月行事等ボードでも確認やホームページも確認している。お迎えに遅れが出たり、イレギュラーがあった際は必ず連絡を入れている。	引き続き共有を行っていく。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	ケース会議を行っている。	関係機関とのケース会議を率先して提案したり、必要に応じて電話などで情報共有を行っていく。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	電話や対面で情報共有を行っている。	引き続き情報提供を行っていく。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	外部の研修を月一回以上設けている。又参加できなかった職員にはどんな研修であったか共有を行っている。	今後も積極的に参加していく。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	9	0	事業所前が公園であることから日頃より地域の子どもとの関わりが多い。	引き続き、地域との交流の機会を設けていく。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0	誰が参加しても答えるようにしている。	今後も積極的に参加していく。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時に取り組んだ内容や様子をこまめに伝えている。	更なる工夫を取り入れていく。
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6	訓練時に家族の方が見学している際、家族に対して助言や情報提供等を行っている。	保護者との連携は図っているが、引き続き保護者との共有を行なながら都度支援についての説明など行なっていく。ペアレントトレーニングとしては今後検討をしていく。
機 構 の 運 営	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に丁寧に説明を行い、変更などがあれば必ず書類を作成し直接伝えている。	引き続き丁寧な説明を継続して行なっていく。
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	面談を行い、本人、家族の意向を確認し作成している。又学校での過ごし方も送迎時に確認を行っている。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	面談を行った後、同意を得る際は必ず再度説明を行っている。	引き続き丁寧な説明を継続して行なっていく。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	都度、時間を設けている。	引き続き保護者との会話の機会をふやし職員間で意見交換を行なながら対応、助言を行なっていくよう取り組んでいく。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	9		保護者会として立案していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	その場で安易な対応はせず、確認を行う。解決策を考え、チームで解決をしていく。	発生した際には迅速に対応し、職員間で共有を行っていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	今世間でよく使用されるツールに対応し、情報発信、管理ができている。日々の連絡帳や月間スケジュールなどで発信している。	引き続き行っていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	鍵付きの書庫で対応し、情報提供をする際は利用者の名前を伏せている。	引き続き徹底した管理や取り扱いを行う。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	話の内容をはっきり、短く具体的に話している。連絡帳など外国籍の方にはひらがなで分かりやすく記載するなど行っている。	引き続き分かりやすく情報伝達の配慮を行っていく。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	避難訓練を行なう際など、消防署の方に来ていただきたり、避難の際、事業所の建て物に住んでいる方にご協力頂いたりしている。	引き続き取り組んでいく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	年間計画通りに訓練を行なっている。様々な想定を立てて訓練を行なっている。	引き続き訓練を行っていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっているか。	9	0	実際に避難する場所に避難し、どのくらいの時間がかかるかなども日々確認をしている。	様々な想定を考慮し、訓練を行い、保護者にも取り組み内容の周知をしていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	服薬した際は薬の説明書で確認したり、発作は毎日利用の際は確認をしている。また発作に繋がりそうな症状の際はスタッフ全員に周知している。	引き続き行っていく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	アレルギーのある保護者へ提供するおやつの確認を行なっている。職員間で共有し管理を行なっている。	アレルギー表を作成しているが、再度周知を行っていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	安全点検を行い、施設内外の設備や備品が適切に管理されているか確認している。点検の結果、必要な修繕や改善を迅速に行なっている。	引き続き訓練等を行い、安全管理を行っていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	子どもたちが安全に過ごせる環境を維持している。リスクが高いブールなどの場面でも役割分担を明確に行い、どんな取り組みか事前の説明を行なっている。	引き続き行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ミーティングでひやっとした場面を確認している。	共有だけではなく、再発防止に向けたミーティング等を行なっていく。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	外部の研修を月一回以上設けている。又参加できなかった職員にはどんな研修であったか共有を行なっている。	研修実施の周知を都度行なっていく。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	該当児がない。 委員会と研修は実施している。	今は該当児がないが、該当児がいれば説明を行い、その後は定期的に伝えていく。